

# 脱原発四日市市民の集い

URL : <http://blog.goo.ne.jp/tanutanu9887/>

## 活動紹介

### ■活動場所

四日市公害と環境未来館活動室、  
四日市市文化会館、中部地区市民センターなど

### ■活動日

年2～3回のシンポジウムを開催し、毎年9月に  
反原発集会やパレードを企画しています。それらの準備などのため不定期に打合せを行います。

### ■活動内容

2011年3月福島第一原発事故が発生。わが国始まって以来最大の公害、環境破壊を引き起こしました。今も原発事故は収束しておりません。たくさんの人々が故郷を失い、生業を奪われ、人と人とのつながりを絶たれました。今も放射能の危険の下に、福島の人々の苦しみは続いています。

私たちは、2度とこのような事故が起きないように、原発や、放射能汚染について、議論を深めていきます。人類と原発は共存できません。経済優先の社会から、自然やいのちが大切にされる社会へ、私たちは原発ゼロ社会をめざして行動します。



## 2019年度の主な活動

○9月8日(日)

樋口英明さん(福井地裁元裁判長)を招き、「わたしが大飯原発を止めた理由」と題した講演を開き、その後原発ゼロを訴えたデモをしました。(73人参加)

○12月1日(日)映画「福島は語る(土井敏邦監督)」上映会

3時間近いドキュメンタリー。福島の人々14人の苦しみ、怒りが切々と語られる感動的な内容でした。(66人参加)

## 代表者の想い

原発の稼働により発生する核のゴミは、10万年もの間、放射線物質を出し続けます。未来の子どもたちへの負担をなるべく減らすためには、これ以上核のゴミを増やさないようにしなければなりません。また、まだ決まっていない最終処分場の議論を深めるためにも、再稼働を凍結し、核のゴミの総量を確定させることが重要だと考えます。

## PR

市民による賛同拠金により、会の運営を行っています。シンポジウムや集会は、どなたでも参加でき、会費はいただいておりません。是非、ご参加ください。